2025 年度課題別/国別/青年研修 研修業務委託契約
JICA 東京・調達予定案件情報
(一般競争入札(総合評価落札方式)、企画競争、参加意思確認公募)

独立行政法人国際協力機構東京センター（JICA 東京）が、2025 年度より開始予定の研修事業（課題別/国別/青年研修）のうち、今後正式に一般競争入札（総合評価落札方式）、企画競争、参加意思確認公募にて公告・公示を行う予定の案件情報を公開いたします。

これらの案件は、予定段階のものであり、あくまで現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性もあります。なお課題別研修と青年研修に関する記載の内容（研修対象国、研修期間、案件目標）は 2025 年度（3 ヶ年の初年度）であり、2026 年度・2027 年度については未定です。

本件に関する問い合わせは、JICA 東京 人間開発・計画調整課（E メール：ticthdop@jica.go.jp）宛にお願いします。なお、各案件に関する詳細な情報は、公示まで公表を差し控えておりますので、予めご了承ください。

2025 年 4 月 1 日

独立行政法人国際協力機構
東京センター
契約担当役
所長 紺屋 健一

調達予定案件（１）

研修コース名 (選定方法)	【国別研修】バングラデシュ「貿易協定締結支援」 (企画競争)
分野課題	民間セクター開発
使用言語	英語
研修対象国 (人数) (予定)	バングラデシュ (13)
研修期間 (予定)	2025 年 8 月中旬～2025 年 8 月下旬
案件目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ LDC 卒業となる 2026 年に向けて、貿易関連の業務を所掌するバングラデシュ政府関連機関等の実務担当者の貿易協定の役割や効果に関する理解が促進され、交渉能力が向上するとともに、貿易協定による影響を評価する能力が向上する。 ・ 日本・バングラデシュ間の貿易協定締結に向けて、バングラデシュ政府関連機関等の実務担当者が日本側の期待に対する理解を深め、両国間の交渉の下地が整えられる。

調達予定案件（２）

研修コース名 (選定方法)	【課題別研修】「サイバー攻撃防御演習」 (企画競争)
分野課題	情報通信技術
使用言語	英語
研修対象国 (人数) (予定)	インドネシア (1)、マレーシア (2)、タイ (1)、ラオス (1)、モンゴル (3)、ブータン (1)、フィジー (1)、サモア (1)、カンボジア (1)、バングラデシュ (2)、モルドバ (2)、ナウル (2)、ヨルダン (2)
研修期間 (予定)	2026 年 1 月 19 日～2026 年 1 月 30 日

案件目標	対象国政府において、最新のセキュリティ対策にかかる講義及びインシデントハンドリングの演習を通じ、標的型攻撃等のサイバー攻撃に対応するために必要な組織、機能、技術、手順、人材を理解する人材が育成される。
------	--

調達予定案件（3）

研修コース名 (選定方法)	【青年研修】外国人材受入にかかる連携強化(仮) (企画競争)
分野課題	外国人材受入・多文化共生
使用言語	英語
研修対象国 (人数) (予定)	フィリピン (15)
研修期間 (予定)	2026年1月中旬～2026年2月上旬
案件目標	海外就労者送出国の制度構築に取り組むフィリピン国関連組織の職員が、送出国での状況、日本側による産業人材育成の取り組み、日本と同国間の産業人材環流の好事例等を知り、同国の発展に繋がる帰国後人材の活躍を目指した諸制度・運用の改善を検討する。

調達予定案件（4）

研修コース名 (選定方法)	【課題別研修】「UHC達成に向けた看護管理能力向上」 (参加意思確認公募)
分野課題	保健医療/保健医療システム
使用言語	英語
研修対象国 (人数) (予定)	ラオス(1)、モンゴル(1)、ブータン(1)、パキスタン(1)、スリランカ(1)、バングラデシュ(2)、フィジー(1)、サモア(1)、
研修期間	2026年1月中旬～2026年2月上旬

(予定)	
案件目標	UHC達成へ向けて、研修参加国および各研修員の所属組織における質の高い看護サービス提供のための看護管理能力が向上する。

調達予定案件（5）

研修コース名 (選定方法)	【課題別研修】「上水道施設技術総合：水道基本計画設計(A)」(参加意思確認公募)
分野課題	水資源/都市給水
使用言語	英語
研修対象国 (人数) (予定)	スーダン(1)、カンボジア(1)、ラオス(1)、ナイジェリア、イエメン(1)、ネパール(4)、バングラデシュ(2)、ラオス(1)
研修期間 (予定)	2025年11月7日～2025年12月19日
案件目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期的計画を踏まえた水の安全・安定供給に必要な水道システムの構築について学ぶ。 ・ 水道施設技術の概要を理解し、浄水処理と配水管網などの基本設計手法を学ぶ。 ・ 自らの国の水道事業者の運営上の技術課題を明確し、その解決に関するアクションプランを作成する。

調達予定案件（6）

研修コース名 (選定方法)	【課題別研修】「持続可能な森林経営のための政策立案能力の強化」(参加意思確認公募)
分野課題	自然環境保全
使用言語	英語
研修対象国 (人数) (予定)	ラオス(1)、ベトナム(1)、モンゴル(1)、ネパール(1)、パキスタン(1)、スリランカ(1)、パプアニューギニア(1)、ブラジル(1)、マラウイ(1)、ウガンダ(1)、カメルーン

	(1)、コンゴ民主共和国(1)
研修期間 (予定)	2025年11月中旬～2025年12月下旬
案件目標	研修員が自国における森林資源の持続的利用を実現するための行動計画を、研修参加者の所掌に応じて作成する。

以上